

風早北部地域内各団体防災活動・訓練実施状況一覧（空欄は活動実施見合わせ）

各項目		実施日	防災訓練等の内容						
			避難訓練	安否確認		シェイクアウト 実施呼掛け	消防 訓練 実施	避難行動 講習会参加	防災倉 庫備品 点検等
				実 施	無線感度				
団体名									
箕輪区									
五條谷区									
大井区	新舟戸								
	井堀内	11月5日		○	△/3	○	○	○	
	大木戸								
	追花	11月6日			△/3	○		○	
	柏東PH	11月6日	○敷地内	○	○/3	○		○	○
	沼南エリカ	11月27日	○敷地内	○	△/3		○	○	○
	中郷								
	中の橋				△/3				
	舟戸							○	
緑台							○		
大島田区									
塚崎区		11月6日	○風早中	○	○/3	○		○	
塚崎二丁目		11月6日		○	○/3	○		○	
塚崎三丁目		12月4日		○	△/4	○		○	
大津ヶ丘一丁目		11月6日		○	○/3				
大津ヶ丘二丁目		11月6日		○	○/3				
大津ヶ丘三丁目		10月23日		○	○/3	○			
大津ヶ丘四丁目		11月20日		○	未実施				
サンパワー区									
大津ヶ丘第一住宅									
大津ヶ丘第三住宅							○		○
大津ヶ丘第四住宅									
大津ヶ丘第五住宅									
グランシティ		11月20日		○	○/3		○	○	○
プロムナード									
塚崎パークヴィラ		11月6日		○	○/3			○	
リバティーヒル柏		10月2日		○	○/3			○	
手賀の杜		11月6日		○	△/3	○		○	○

風早中学校	11月6日に体育館を開放						
大津ヶ丘中						○	
大津ヶ丘第一小							
大津ヶ丘第二小							
風早北部小							
沼南近隣センター	11月6日	地区対策本部無線受信基地					

注：無線交信欄の○は11月6日に柏市沼南近隣センター主催で実施。△はそれ以外の日に実施。感度3「良好」。

各団体別簡易無線機/トランシーバー3R5W出力型機種の利用状況

(令和5年4月1日時点の当会独自調査結果による)

保有団体名	団体独自 所有台数	当会保有 貸出台数	合計
大井区新舟戸町会	1	1	2
同 井堀内町会		1	1
同 追花町会	4	1	5
同 柏東パークホームズ管理組合	2		2
同 沼南エリカマンション管理組合	1		1
同 中の橋町会		1	1
同 中郷町会		1	1
同 舟戸町会	3		3
同 緑台町会（使用検討中）		1	1
大島田区	3		3
塚崎区	5	1	6
塚崎二丁目自治会	3		3
塚崎三丁目自治会	1		1
大津ヶ丘一丁目町会	3		3
大津ヶ丘二丁目町会		1	1
大津ヶ丘三丁目町会	2		2
大津ヶ丘四丁目町会	1		1
サンパワー区管理組合		1	1
大津ヶ丘第三住宅管理組合	1	1	2
大津ヶ丘第五住宅管理組合	1		1
プロムナード大津ヶ丘団地管理組合		1	1
塚崎パークヴィラ自治会	1		1
リバティーヒル柏自治会	2		2
手賀の杜自治会	5	1	6
桐友学園/沼南育成園	7		7
ふるさと協議会		7	7
柏市沼南近隣センター	1		1
合計	47	19	66

太田和美柏市長へ提出の防災関係要望書

令和 5 年 1 月 16 日

柏市長

太 田 和 美 殿

柏市風早北部地域ふるさと協議会
会 長 牧 野 好 延

柏市の防災活動に関わる風早北部地域住民からの要望書

常日頃より、柏市の災害対策に関わる諸行政への取組みに敬意を表しますとともに、当会の防災活動に対し、深いご理解とご協力を頂戴し、誠にありがとうございます。

一昨年11月1日付での当会防犯防災部長名にて貴所総務部(現危機管理部)防災安全課長に対し、市民の命を守ることを主旨とする要望書を提出、同年12月23日には、当時の総務部長ご同席下で当会との協議にに応じていただきました。貴所からのその結果(回答)やその後の同課における行政執行状況などを踏まえ、今年度の当会からの要望を以下のとおり提出しますので、何卒誠意あるご対応をお願い申し上げます。

記

- 1. 風早北部地域防災に関しまして、柏市長及び同危機管理部長※との下記の協議内容につき対面での協議の機会を設けていただけますようお願い申し上げます**

※議題の内容によっては、関係するそれ以外の各部長のご出席をお願いいたします

- 2. 協議の内容**

議題(1)当風早北部地域内の大地震発災時のトリアージを含む緊急治療医療体制の改善について

日本国内で発生する震度の大きな地震では、毎回、転倒家具による怪我人の発生、更にそれが障害となった逃げ遅れなどで、犠牲となる市民が少なからず報告されています。当風早北部地域は、大規模医療施設がないことを背景に、災害発生時には地域内に医師や看護師が最悪いなくなるような事態も想起され、平時では助かる命

が災害時には助からないリスクが非常に高くなるとの不安があることから、こうした事態を脱却することが最優先であると考えます。現時点で柏市と市医師会等関係団体との間で、トリアージを含め上記災害緊急時の市民の治療・医療体制につき、問題解決に向けた協議がどの程度進捗しているかにつきうかがいます。

なお、当地域内に災害時に対応可能な医療施設・医療従事者が絶対的に不足することの課題を解消するためには、医療施設を地域内に開設することが欠かせないものと考えます。具体的には、大規模商業地であるセブンパークアリオ柏がその候補地として考えられる一方で、該施設は国道16号線沿い交通の要地に所在し、災害帰宅困難者（車両）も多くが集まるものと思われ、そのための混雑や混乱が避けられないことでは、これ以外にも代替地の確保が必要と考えます。例えば、道の駅しようなんのほか、大津ヶ丘中央公園、塚崎運動場といった公共施設も緊急医療施設候補地に加えた協議を行っていただくことを期待します。

議題(2) 市の行政無線の部分的放送機能を有効に活用いただくことについて

市内行政無線設備の部分的放送使用が物理的に実現したことにつきまして、貴所防災ご担当部署職員に方々の迅速なご対応を高く評価するところです。現在、その具体的運用やルールを鋭意整備されていると聞き及びますが、私どもからは、柏市配信メールでの案内とともに、以下のような内容で行政無線の部分的活用を図っていただきたいと思えます。

- ① 行方不明(徘徊)者の該当地域への迅速な周知
- ② 台風等の自主避難所設置の広報
- ③ 各地域実施の一斉防災訓練時の案内
- ④ 電話 de 詐欺情報の周知
- ⑤ 災害発災時の人命に関わる情報に加え、住民への災害情報の周知

など

議題(3) 市内一斉防災訓練の実施(現在の柏市主催総合防災訓練の抜本的な見直し)について

現在、柏市が毎年11月に総合防災訓練と称して実施している防災訓練については、市内の一部地域を対象に実施する訓練、指定した会場での一般市民参加型訓練、図上訓練等を市役所・消防職員や医療関係者等を対象に参加者限定で行う机上訓練につき、三年に一度のサイクルで行われている（直近では感染症拡大の影響でその実施が中止されています）と理解しております。

それぞれの訓練は、貴所関係部署での準備を含めて相当な業務負担を費やされて

いることは聞き及んでおりますが、その労に比べての実際の効果については極めて不透明であり、その継続実施には疑問が多々あると私どもは評価しております。

風早北部地域ふるさと協議会におきましては、現行の柏市防災計画をより実効ある内容にするための検証の術（スベ）は、市内全域を対象により広範囲で全市民参加型の訓練を実施することなしに達成は難しいと考えております。上記を踏まえ、毎年、より広範囲な市民参加型防災訓練の実現が欠かせないものと思います。

なお、一斉訓練の実施に際しては、地域住民や住民避難所・避難場所となる学校・近隣センター、更には柏市災害対策本部（柏市本庁舎設置）・同地区災害対策本部（各近隣センター設置）・消防・警察・病院等と連携した訓練となることが必要です。

議題（4）住民、特に高齢者への自助防災の啓発活動や支援の実施について

柏市は過去に大きな災害の経験がほとんどないこともあって、災害に対する市民の意識が全体的に希薄であるとの評価をせざるを得ません。特に高齢者に関しては、デジタル情報に対する不慣れや抵抗感もあって、防災に関する知見の習得が概して後発となり、もって大規模災害が発生した際に大きな怪我をしてしまうなどで災害の犠牲となる可能性も高くなっています。災害時に医療体制が混乱する中では、発災に際して怪我をせず難を逃れることが非常に重要であると捉え、私どもは以下のような内容を強く要望いたしますので、改善に向けた検討を早急に進めていただくようお願いいたします。

① 独居高齢者宅への家具転倒防止に係る作業や物資経費の補助金支給策の導入について

高齢者のみの世帯が今後も増加する中、家具転倒防止の作業従事に制約のある高齢者世帯では、その必要性を感じるものの、インターネット情報での防止作業ノウハウを自ら学習することにも躊躇されるのが実情です。体力的な面も相俟って自らによる作業が難しく、結果として転倒防止措置が未完了世帯の存在は、震災時の被害拡大の危険性が憂慮されます。有償で作業を他に依頼する際の経費に関わる補助金制度、あるいは必要な防止装置（機材）の無償配給につきまして、その実現を前向きにご検討願います。

② 家具転倒防止措置の実施を啓発する市民向け関連講習会の定期的実施について

上記の転倒防止作業ノウハウを一般市民や各地域団体の防災担当役員・防災ボランティア従事者に教宣することを通じ、発災時の犠牲者や怪我人を少しでも減らし、二次災害に及ぶことを防ぐよう、市民に転倒防止策の重要性を一層啓発される目的で、関連の講習会を定期的の実施されることが大切であると考えます。

議題(5)マイカー及びマイテント避難の拡充を一刻も早く実現頂くことについて

柏市内の指定避難所は、感染症対策として従前の避難者収容数を確保することが難しいことは理解しております。この感染症対策はもとより、事情があって大きな空間に滞在することが困難な住民、更には、家族同様のペットとの同伴避難を切望する住民感情を考えた場合、マイカー避難及びマイテント持参での避難を推奨することが有効であると考えます。

一昨年12月23日の当会と柏市（総務部長及び防災安全課）との協議では、貴所の都市部公園緑地課などにより、こうしたマイカー避難を可能とする市の管理地の調査が進められると聞き及んでおり、その進捗具合を含め、今後、このマイカー&マイテント避難の一刻も早い実現が必要であると考えます。

以上

柏市危機管理部長との会見・協議結果概要

1. 実施日時：令和5（2023）年2月2日 木曜日
午前10時05分～午前12時05分（2時間）
2. 実施会場：市役所本庁舎敷地内会議室
3. 出席者：（詳細は巻末の「別紙」参照）
 - 柏市側 危機管理部長 ほか4名
 - 風早北部地域ふるさと協議会側 会長及び防犯防災部長
 - 陪席（オブザーバー）沼南近隣センター所長 以上計8名
4. 協議結果（骨子）

冒頭発言

ふる協側：

これまでの約6年間に市側に提示してきた要望事項への市からの回答が不十分であることへの不満（巻末別紙掲載資料①を提示）、市長（前市長や現市長）の対応や発言にも不信感があることを冒頭で表明。そのため、今回は市上層部との会見を依頼し、直接考え方を訊ねたかったことを説明。

市側：

回答が不十分であったことは陳謝。但し事案の関係者・当事者が決して少なくないことを背景に、回答には慎重さが必要であることで、なかなか期待に沿えるタイミングで回答できていないことをご理解願いたい。また、市内各団体での防災活動の温度差が大きく、レベルの高い団体の活動に合わせるより、全体の中で底上げを計ることが重要であると判断している。

市長や幹部（上層部）への直接の要望とのことだが、私どもに頂戴した要望もしっかり市長・関係幹部に報告している。市長は、様々な案件への対応で多忙な中、個々の事案を全体感をもって対処する立場にある。こうしたことにも何卒ご理解願いたい。以下「■」が柏市からの主な回答の骨子。●は当会側からの発言骨子。

議題(1) 当風早北部地域内の大地震発災時のトリアージを含む緊急治療医療体制の改善について〈冒頭で巻末別紙掲載資料②を提示〉

- 柏市と市医師会等様々な関係団体との間で、災害時の医療体制（救急救護施設や医療物資集積場所の確保）につき、優先度の高い課題の一つとしてその協議を実施中である
- 関係者間の調整や協議もあるため、検討状況の詳細を含めなかなか迅速に公表できないことが少なくない
- 本件での地域住民の不安を解消できるよう、現行の課題解消に向けた対策検討を出来るだけ進めて参りたい

議題(2) 市の行政無線の部分的放送機能を有効に活用いただくことについて

- 人命にかかわる内容は出来るだけ行政無線の部分活用を行って参りたい
- 自主避難所の開設に関わる通報も人命に関わる事項であり、活用対象の範疇と捉え、今後住民が混乱しないよう配慮しつつ、無線放送機能を活用していく予定である
- 電話 de 詐欺対策では、もはや無線による通報云々の段階でないほど被害は深刻となっており、高齢者宅への留守番電話機の無償支給といった思い切った策を進めていくことを予定（近々に市から公表）している

議題(3) 市内一斉防災訓練の実施(現在の柏市主催総合防災訓練の抜本的な見直し)について

（ふる協からの改めでの主張）

- 現在の市の防災計画を検証していくためには、市全体で（広域の）防災訓練の実施以外に効果的な手法はない。柏市が毎年11月に実施する現行の防災訓練のやり方での達成は極めて困難と我々は評価している
- 今年は関東大震災発生から100年の節目である。この機会をとらえ、来る9月1日の防災の日に市内一斉訓練（市内全体で対応できる訓練）の実現を目指したい。その具体的内容を検討する。
- シェイクアウト訓練は関連団体への事前登録などかなり手間がかかることから、仮に実施する場合でも、市民への実施呼びかけのスタイルとなる。

議題(4) 住民、特に高齢者への自助防災の啓発活動や支援の実施について

- 補助金新設については現時点で考えていない（昨年12月の定例議会でもその主旨で答弁）。災害時に高齢者を守る対策の重要性は市でも十分認識しており、具体的な策は今後検討したい。

（この回答を受けての当会からの提案発言）

- 現状の身障者向け補助金制度（支給実績は非常に少ない）の支給対象に高齢者を加える、関連講習会は民活導入や現行のフレイル防止策として実施するなど、危機管理部以外の部局課組織と連携した取組みを是非お考えいただきたい。

議題(5) マイカー及びマイテント避難の拡充を一刻も早く実現いただくことについて

- 関係部署と協議、調査を実施し、結果として市の管理地を活用したテント避難の実現は可能考える一方、マイカー避難との混在は避難現場での事故等の発生の危険性が伴うため慎重に判断すべきであり、実施は現時点では難しい。

（この回答を受けての当会からの発言）

- 私どもが求める「マイカー避難の実現」が先ずは重要で、テント避難自体は補完的措置である。避難場所での安全確保の観点では、テント避難だけでは心配な面が多い。この両者の組み合わせで、安全安心な一時的避難スペースが確保される。本施策により集団生活が難しい世帯の避難生活やペットとの同伴・同行避難も可能となる。その点では、在宅避難が難しくなった世帯住民の支えとなるはずである。例として、東広島市のマイカー避難の対応を参考に、マイカー及びマイテント避難をセットで考え、その避難を可能とする土地の確保をお願いしたい。

会見・協議概要は以上

危機管理部長との会見・協議概要《別紙》

■ 会見出席者（8名）

- 柏市側：
 - 國井 危機管理部長
 - 須藤 防災安全課長
 - 齋藤 統括リーダー
 - 大滝 副主幹（風早北部地区担当）
 - 花田 主任（同上）

-ふるさと協議会側：

- 牧野 会長（塚崎区）
- 古山 防犯防災部長（手賀の杜自治会）

- オブ参加 篠原 沼南近隣センター所長（風早北部地区災害対策本部長）

- 会見先上での「提示資料」について（2件）
- ✓ 防災に関する要望と回答《資料①》…本紙面への添付は省略
- ✓ 柏市災害時救急医療施設の配置図《資料②》…本紙面への添付は省略

防災資料展示会の実施結果概要

令和5年3月26日

防災パネル展示会の実施結果報告

1. 実施期間 令和5年 3月12日 日曜日 午前9時から
同 年 3月25日 土曜日 午後4時まで
2. 実施会場：沼南近隣センター1階ロビー奥のラウンジスペース
3. 実施主催者：下記2つの団体での共催
風早北部地域ふるさと協議会（防犯防災部）
女性防災活動サークル「風北ジョイナス」
4. 実施内容：無人でも対応可能な催事とし休日は可能な範囲で事務室に待機
 - ✓ 災害関連の写真数枚（柏市防災研究会提供の写真を数枚拡大印刷掲示）
 - ✓ 犯防災部今期発信の住民向け防災ニュース（カラー拡大版）24枚並びに1月末の柏市長への要望書提出と2月2日の市との協議結果を紹介
 - ✓ 避難所等で役に立つミニテントを展示し各家庭での用意を推奨
 - ✓ 簡易トイレ・新聞スリッパ等の作り方講座（風北ジョイナスの協力）
 - ✓ ジョイナスからの挑戦状～防災クイズの実施（20問）し、10問以上解答の応募者に参加賞（SOSホイッスル：総務部備蓄物をご提供いただきました）を、高得点者上位に簡易トイレ「トイレの達人（@2,000円相当）」をそれぞれ進呈
 - ✓ 来訪者アンケート提出方にはお礼のキッチンラップを進呈
 - ✓ 上記アンケートや防災クイズ記入用の長机と椅子を数脚用意
5. その他（注意事項）
 - 消毒用アルコールを会場に配備し、マスク着用の是非は開催時期の施設規則に従った
 - 会場設営は3月11日、撤収（備品片付け）は3月25夕方に実施
 - 期間中、会場は無人（立ち合い者なし）での運営とし、毎土・日曜・祝日は立ち合いを配備し、場内来場者への声掛け、展示品の整理整頓を実施

- 3月19日(日)は風北ふるさとウォークラリーのチェックポイントを開設
- アンケート回収数は13通、クイズ応募数は35通であった。お礼の景品、参加賞、優秀賞のお渡しは防犯防災部及び風北ジョイナスで暫時実施し、4月3日までに全てに送付を完了しました。アンケート集約結果は巻末「7」のとおり。

6. 展示会来訪者のアンケート結果（有効回答13件）

ふるさと協議会が今年度に配信した住民向け防災ニュース

- ホームページに掲載しているのを知らなかった 6
- ホームページ掲載は知っていたが閲覧したことはなかった 6
- ホームページで定期的に/ときどき閲覧している
- その他 2

20問出題の防災クイズ

- 解答が難しかった 9 解答はそう難しくはなかった 2
- 問題数が多すぎる 3 問題数が少ない
- その他 2

（やるべきことか理想の解答かの区別がつきにくく回答に苦労した）

各家庭内で「ミニテントの用意」をしておくことの提案

- その通りだと思う（自宅でもやってみたい・やっている） 11
- そうは思わない（市がもっと避難所拡大に尽力いただくことを期待する）
- その他 2

（集合住宅には当てはまらない）

女性防災サークル「風北ジョイナス」による手づくり簡易トイレやスリッパなどの

展示

- 家でも作ってみたい（作り方の資料をいただいた） 11
- 特に関心はない
- その他

今回の展示会への全般的な感想について

- 知識がより身についた 11
- 日常での防災活動や訓練の必要性を感じた 6
- ふるさと協議会から発信される情報をもっと注視したい 4
- 来年度も同様の催しを開催して欲しい 4
- その他